令和５年度　デジタル田園都市国家構想交付金事業

１.市単独事業（地方創生推進タイプ）①

事業名	まちにコミットするローカルイノベーター創出事業【Ｒ元～Ｒ５年度】							
事業内容	≪事業の全体像≫ 地域資源の活用と地域課題の解決をビジネスの手法で考えるローカルイノベーターを育成し、新たなビジネスやイノベーションを創出することで、外貨の獲得や地域経済の好循環につなげる。 また、地方に関心のある都市圏在住者や大学生等を対象に本市のヒトやコトにフォーカスした情報発信や人材育成に取り組むことで、本市に関わりたい、暮らしたいと思う、新たな人の流れを生み、Ｕ・Ｉターンを促進させるほか、市街地活性化を中心とした移住・創業支援の取組との連携を図ることで、人口の社会減の抑制と街なかを中心とした市全体の賑わいを創出する。 ≪Ｒ５年度事業内容≫ ●たなべ未来創造塾（事業費 3,130,645円） 持続可能な地域の形成を目指し、交流人口の増加と地域経済の活性化を図るため、地域課題の解決や地域資源の活用をビジネスの視点で考える「ローカルイノベーター」の育成とビジネスモデルの創出に取り組むほか、女性を対象にした創業塾を実施する。また、引き続き中間支援組織となり得る人材を選考・育成する。 ●関係人口創出事業（事業費 10,000,000円） 都市圏に暮らす20代～40代のローカル志向層や田辺市にゆかりのある者をターゲットとし、本市に活力をもたらすヒトやコトにフォーカスしたプロモーションを行う。プロモーションにおいては、前述のターゲットを購読者に抱える媒体を活用した情報発信を行うほか、関係人口養成講座を開催し、ローカルイノベーターがゲストスピーカーとして登壇する講座やプランづくりから行う現地実習を通じて、受講生自らが田辺市との繋がりを考えることで、受講生と本市の関係性を築き、本市への人の流れの創出につなげていく。 ●市街地活性化施設活用事業（事業費 33,000,000円） 市街地活性化施設の活用を促進するプランを構築し、その構築したプランに沿った、起業・創業をワンストップで支援できる相談窓口を設置し、各種補助制度の情報発信や、経営指導員による経営指導及び多様な人材の交流のマッチングサポートを行うなど、起業・創業の拠点としての取組と、起業・創業に関する各種セミナーや交流会の開催、市内の経済活性化を図るための地域産品プロモーションの展開、マルシェやワークスペースを活用したイベント実施に取り組むことで、市街地活性化施設があらゆる関係者を巻き込みながら、多様なヒト・モノ・カネ・情報が集積する街なかの「知的対流拠点」となる仕組みづくりに取り組む。 ≪参考（実績額）≫ 事業費 46,130,645円（うち交付金充当額 19,338,502円）	本事業における重要業績評価指標（ＫＰＩ）							
	指標	区分	（基準値）H30	Ｒ元	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５
	本事業を通じた関係人口（本事業参加者のうち、自主的に本市を訪れた人数） ５年間で210人	計画値	0人	10人	20人	40人	60人	80人
		実績値		53人	36人	66人	106人	83人
	本事業を通じた移住者数 ５年間で15人	計画値	0人	2人	3人	5人	2人	3人
		実績値		0人	8人	2人	0人	0人
	本事業を通じた創業・第２次創業件数 ５年間で42件	計画値	0件	1件	8件	13件	10件	10件
		実績値		6件	9件	14件	22件	8件
	たなべ未来創造塾受講者数 ５年間で92人	計画値	0人	12人	20人	20人	20人	20人
		実績値		12人	23人	22人	24人	24人

市単独事業（地方創生推進タイプ）②

事業名	多様なツーリズム推進事業【Ｒ４～Ｒ６年度】						
事業内容	≪事業の全体像≫ 　これまでの本市の観光施策は世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道（熊野古道）」を観光資源に、欧米豪をはじめとする外国人観光客を主なターゲットとしてプロモーションを展開、海外からは高い評価を獲得し、外国人観光客も年々増加していたが、一方で熊野古道を歩く国内観光客は少ない状況であった。また、コロナ禍により観光動向が変化しており、全国的に外国人観光客は激減しているとともに、国内外において自然体験やアウトドア等への関心が高まっている。 　さらに、市内には世界遺産熊野古道のほか、ひき岩群、護摩壇山、百間山など国立・国定公園や県立自然公園となっている自然豊かな登山スポットが点在しているものの、これらの観光資源は自然体験やアウトドア等の分野で活用できていなかった。登山やアウトドアに関心のある層をターゲットに活用を図り、「低山トラベル」という楽しみ方をテーマにすることで、差別化を図り、低山トラベルという旅のスタイルの普及を本市が先駆的に取り組むことで、本市のブランディングにつなげる。このような新たな需要を創造するとともに、多様なツーリズムの推進による新たな客層及び持続的な誘客へとつなげ、他の施策等とも連携させることで、市内観光の回復と地域経済の活性化を目指す。 ≪Ｒ５年度事業内容≫ ●「登山、アウトドア」の切り口で、「低山トラベル」をテーマに本市の多様な観光素材を活用し、地域経済の活性化及び持続可能な観光地づくりを推進するため、市内の登山に関わる観光素材の統一コンセプトを設定し、ブランディングすることで持続的な誘客に繋げる。２年目については、魅力的なコンテンツを作ることと情報発信の頻度を増やすことに重点を置き、本市の魅力向上とブランディングに繋げる。 ≪参考（実績額）≫ 事業費 4,950,000円（うち交付金充当額 2,475,000円）	本事業における重要業績評価指標(KPI)						
		指標	区分	（基準値） Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６
		低山登山者数 Ｒ６年度に9,900人	計画値	6,400人	7,000人	8,300人	9,900人
			実績値		8,100人	9,646人	
		ハイキング、キャンプ等の目的別観光客数 Ｒ６年度に294,860人	計画値	232,860人	244,360人	268,360人	294,860人
			実績値		290,623人	347,924人	
		本事業でコンテンツ化した旅行商品の取り扱い件数 Ｒ６年度に80件	計画値	0件	0件	20件	80件
			実績値		0件	4件	
		本事業を通じた関係人口及び関係人口予備軍 Ｒ６年度に55人	計画値	0人	15人	35人	55人
			実績値		7人	25人	

市単独事業（地方創生推進タイプ）③

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="7">観光を軸とした持続可能な地域づくり推進事業【Ｒ５～Ｒ７年度】</td></tr>
<tr><td rowspan="11">事業内容</td><td rowspan="11">≪事業の全体像≫
　本市の観光資源を形成する森林環境、山村景観及び文化的景観の保全と活用を両立し、持続可能な地域づくりにつなげるため、植林や育林事業に係る森林体験コンテンツを開発し、観光客による森林保全を推進するとともに、国内外で人気の高い梅酒をテーマとしたツーリズムを造成し、耕作放棄地を活用した空間づくりや体験コンテンツ化を行い、国内外からの誘客及び外貨獲得を図る。
　また、これらの取組と併せて、ショートムービーの制作配信により各事業のプロモーション力を高め、ダイヤモンドイヤーを活かした本市の認知度向上と誘客促進に積極的に取り組むことで、本事業の将来的な自立を目指す。

≪Ｒ５年度事業内容≫
●サスティナブルツーリズム推進事業（事業費 5,000,000円）
　市内企業等と連携し、植林や育林事業に係る観光コンテンツの開発及びオンライン上での予約販売を行うことで、観光客による森林保全の推進と観光消費による外貨獲得を両立し、雇用創出や林業振興、ひいては移住定住の促進にもつなげる。併せて、森の公益的機能や本市の山村景観の魅力を伝える人材を育成し、観光客への発信だけでなく、学校教育とも連携した取組を展開することで、子供たちのシビックプライドを育み、地域産業の将来を担う土壌をつくる。

●梅酒ツーリズム推進事業（事業費 15,000,000円）
　本市の主要産業である梅産業の中でも、国内外で人気の高く、観光の切り口ともなりうる梅酒をテーマとしたツーリズムを造成し、オンライン上での予約販売を行うことで、国内外からの誘客及び消費拡大を図り、梅産業の振興につなげる。１年目においてはコンテンツ開発などの地盤づくりを行い、２年目以降は拡大とブランディングに取り組む。

●ダイヤモンドイヤーを活かした誘客促進事業（事業費 3,994,210円）
　本市への誘客やプロモーションの好機となる大型事業と連携し、既存の観光施策を加速させながら、本事業において開発・造成する新たなコンテンツも広くプロモーションすることで、本市のブランディングにつなげる。

●プロモーション動画制作配信事業（事業費 3,499,985円）
　世界遺産を核とした観光施策や多様なツーリズムを加速させるとともに、新たに開発するコンテンツのプロモーションに寄与するため、近年ニーズが高まっているショートムービーをテーマごとに制作し、ＳＮＳ等において効果的に配信することで、本市の認知度向上と誘客促進を図る。

≪参考（実績額）≫
事業費 27,494,195円（うち交付金充当額 12,981,534円）</td><td colspan="6">本事業における重要業績評価指標(KPI)</td></tr>
<tr><td>指標</td><td>区分</td><td>（基準値）
Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td></tr>
<tr><td rowspan="2">観光客入込客数

Ｒ７年度に4,684,685人</td><td>計画値</td><td rowspan="2">2,584,685人</td><td>3,184,685人</td><td>4,384,685人</td><td>4,684,685人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>3,008,020人</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">森林体験コンテンツの販売数（参加人数）

Ｒ７年度に50人</td><td>計画値</td><td rowspan="2">0人</td><td>0人</td><td>20人</td><td>50人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>0人</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">梅酒ツーリズム商品の販売数（参加人数）

Ｒ７年度に250人</td><td>計画値</td><td rowspan="2">0人</td><td>0人</td><td>100人</td><td>250人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>0人</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">耕作放棄地及び植栽放棄地の活用件数

Ｒ７年度に13件</td><td>計画値</td><td rowspan="2">0件</td><td>3件</td><td>8件</td><td>13件</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>2件</td><td></td><td></td></tr>
</table>

２.広域連携事業（地方創生推進タイプ）①

事業名	持続可能な地域を創生する世界農業遺産活用戦略推進事業【Ｒ４～Ｒ６年度】						
事業内容	≪事業の全体像≫ みなべ、田辺地域では、新たな地域の創生戦略として、梅の生産過程等を踏まえた梅そのものの価値を再認識する中で、梅を核とした「農業システム」を世界に誇れる資源として、国連食糧農業機関（ＦＡＯ）に対し「世界農業遺産（ＧＩＡＨＳ）」への申請を行い、2015年12月15日に認定されたところである。本地域としては、世界農業遺産の認定を契機として、引き続き梅産業全般のグローバル展開を図るとともに、梅産業はもちろん地域の魅力・価値を再発見、再構築して、その魅力・価値を充分に理解して発信できる人材を育成してくことを通じて、梅（ＵＭＥ）産業のイノベーションを実現する。 ≪Ｒ５年度事業内容≫ ●みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会負担金 みなべ・田辺の梅システムの保全と活用を図るため、世界農業遺産保全計画（第２期）に基づく取組を行う。 １．グリーンツーリズム推進事業 グリーンツーリズム事業メニュー構築のため地域観光関係部局等と連携し、研修会を実施する。 地域の環境保全に関する里山管理、生物多様性の勉強会を実施し、グリーンツーリズム体験メニューを構築する。 ２．住民参画地域保全活動支援事業 世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」を理解し、発信できる人材「梅システムマイスター」を中心とした住民主導プロジェクトによる次世代育成活動支援。 地域住民主体で実施する、梅システムの保全活用の取組に対して支援を行う。 耕作放棄地にウバメガシ等のミツバチの蜜源樹植樹を行うことで、地域環境の保全を目指す。 ３．世界農業遺産調査・検討事業 世界農業遺産の地域住民による保全活用の機運向上及び、地域課題の掘り起こし調査を行い活用する。 ４．梅と健康のＰＲ事業 国内の消費者向けに、梅の健康への有用性をPRすることで新たな需要を掘り起こし、消費拡大を目指す。また世界農業遺産国内認定地域と共同で物産展等を開催することで、世界農業遺産の認知度向上と消費拡大を図る。 地域内教育委員会と連携し、地域内小中学校等への梅の機能性ＰＲの実施。 海外に向けて、JETRO連携事業として、欧米豪諸国にターゲットを絞った梅・梅加工品の海外市場販路開拓のため、梅＝健康をテーマに梅の有用性をＰＲすることで、新たな魅力を発信していく。 世界農業遺産認定地域の先進地として、認定を目指す海外の研修生を受入れ地域の若者との交流の場を作る。 ≪参考（実績額）≫ 事業費 2,618,931円（うち交付金充当額 1,294,439円）	本事業における重要業績評価指標(KPI)						
		指標	区分	（基準値） Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６
		地域の魅力ある資源を発掘し発信することで、国内外からの人の流れ（宿泊客数） Ｒ６年度に417,113人	計画値	327,113人	357,113人	387,113人	417,113人
			実績値		428,369人	504,409人	
		梅システムマイスターを中心とした、地域を主体とした取組を推進することで、年間の新規就農者の増加を目指す Ｒ６年度に36人	計画値	23人	27人	31人	36人
			実績値		20人	21人	
		ミツバチによる生物多様性評価、重要性の周知、環境の整備により、ニホンミツバチの飼養数の増加を目指す Ｒ６年度に252群	計画値	132群	162群	192群	252群
			実績値		102群	166群	
		梅干しの新たな魅力や地域の魅力を発信することで、梅干し離れに歯止めをかけ、年間一世帯当たりの梅干し購入量の増加を目指す Ｒ６年度に693ｇ	計画値	633ｇ	643ｇ	663ｇ	693ｇ
			実績値		650ｇ	626ｇ	

※本事業の評価検証については、「みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会」において実施する。

３.市単独事業（拠点整備タイプ）

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="8">スポーツ合宿を核とした交流人口創出事業【Ｒ５～Ｒ９年度】</td></tr>
<tr><td rowspan="8">事業内容</td><td rowspan="8">≪事業の全体像≫
　スポーツ合宿の誘致における他地域との優位性を高め、新たな利用団体の受入れなど更なるスポーツ合宿の誘致を促進し、スポーツ振興と交流人口の増加、地域経済の活性化を図るため、約30.8ヘクタールの公園内に各種スポーツ施設を有する田辺スポーツパークにおいて、ナショナルチームや各競技のトップクラスのアスリートにとって十分満足できる充実したトレーニング機器等を備えたトレーニング施設を整備する。
　施設については、スポーツ合宿利用者のトレーニングだけではなく、体力向上や健康維持のため一般市民にも施設を開放する。
　また、当地域の温暖な気候や高速道路の南紀田辺インターチェンジからすぐの場所に位置する交通の利便性を生かすとともに、スポーツ・ツーリズム・コーディネーターや南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会とも連携し、陸上競技場での陸上、サッカー、体育館でのバレーボールやバスケットボール、野球場での野球などの競技を中心としたスポーツ合宿を積極的に誘致することで、誘致件数及び利用者数の増加につなげる。

【施設名称】
田辺スポーツパークトレーニングジム

【整備内容】
　新たな利用団体の受入れなど更なるスポーツ合宿の誘致を図り、スポーツ振興と交流人口の増加、地域活性化を推進するため、ナショナルチームや各競技のトップクラスのチームでも対応できるトレーニング施設を整備する。
　木造平家建て　延床面積300㎡

≪参考（実績額）≫
事業費 136,059,000円（うち交付金充当額 68,029,500円）</td><td colspan="8">本事業における重要業績評価指標(KPI)</td></tr>
<tr><td>指標</td><td>区分</td><td>（基準値）
Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>Ｒ７</td><td>Ｒ８</td><td>Ｒ９</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スポーツ合宿誘致件数
Ｒ９年度に638件</td><td>計画値</td><td rowspan="2">588件</td><td>598件</td><td>608件</td><td>618件</td><td>628件</td><td>638件</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>584件</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">スポーツ合宿利用人数
Ｒ９年度に26,950人</td><td>計画値</td><td rowspan="2">24,450人</td><td>24,950人</td><td>25,450人</td><td>25,950人</td><td>26,450人</td><td>26,950人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>35,219人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">トレーニング施設利用者数
Ｒ９年度に2,300人</td><td>計画値</td><td rowspan="2">0人</td><td>300人</td><td>2,000人</td><td>2,100人</td><td>2,200人</td><td>2,300人</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>630人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>